



昔一緒に遊んだ  
お兄ちゃんとは再会したら  
あの頃と姿が  
変わって  
いなかった話



ここは  
山の神様の  
お家だよ  
ひよちゃん

神様？



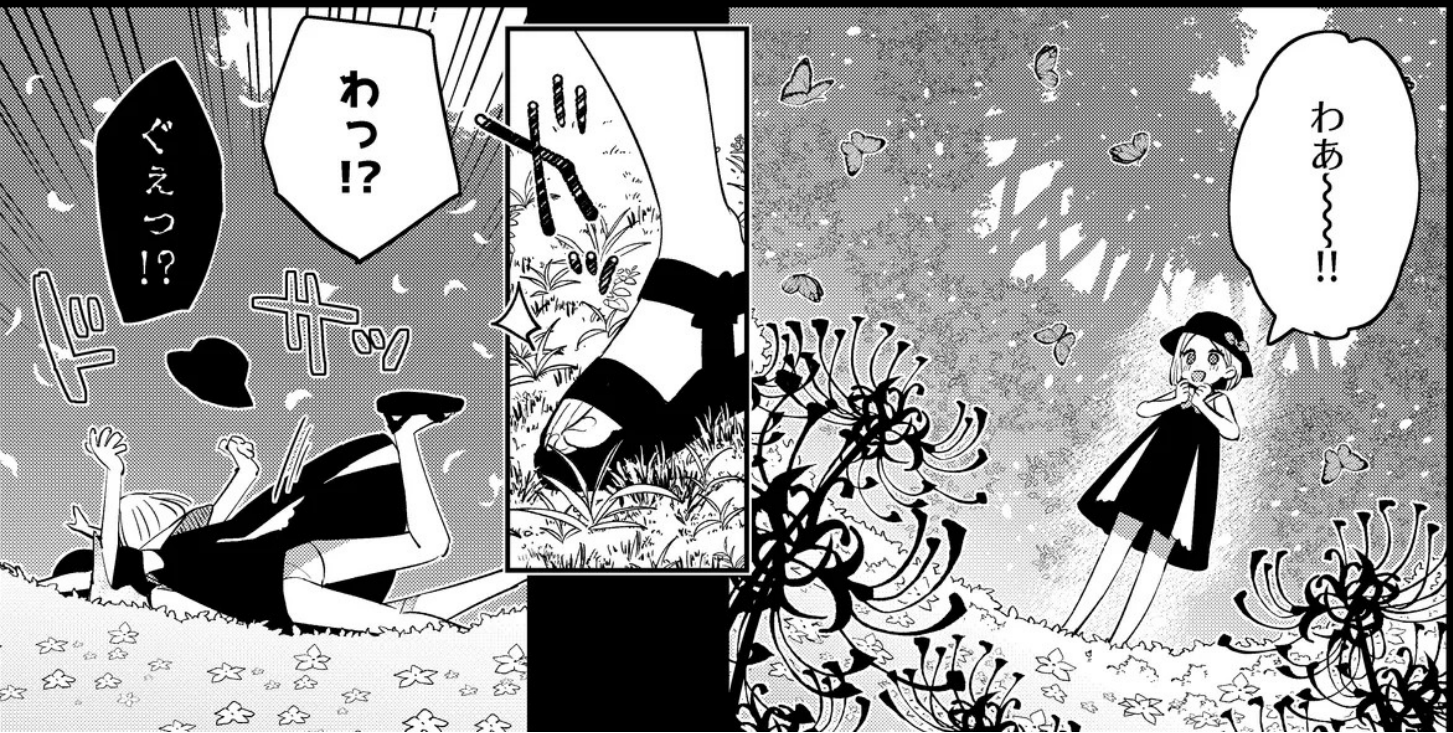
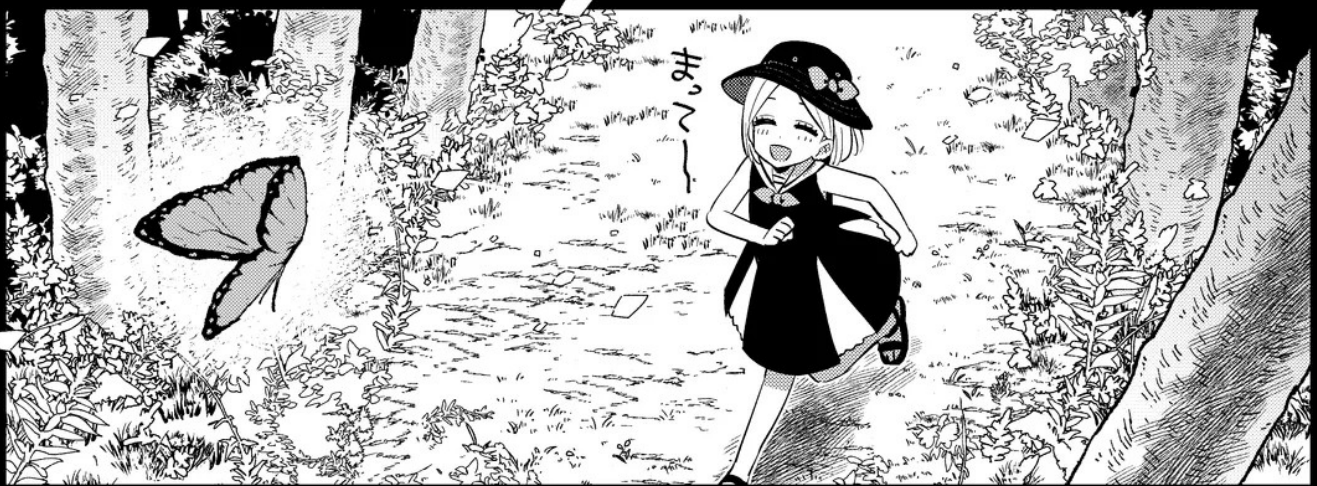
村の人達と  
順番こで  
神様のお家を  
綺麗にしてるんだよ

ひよちゃんも  
一緒にお掃除  
しようねえ

うん!!



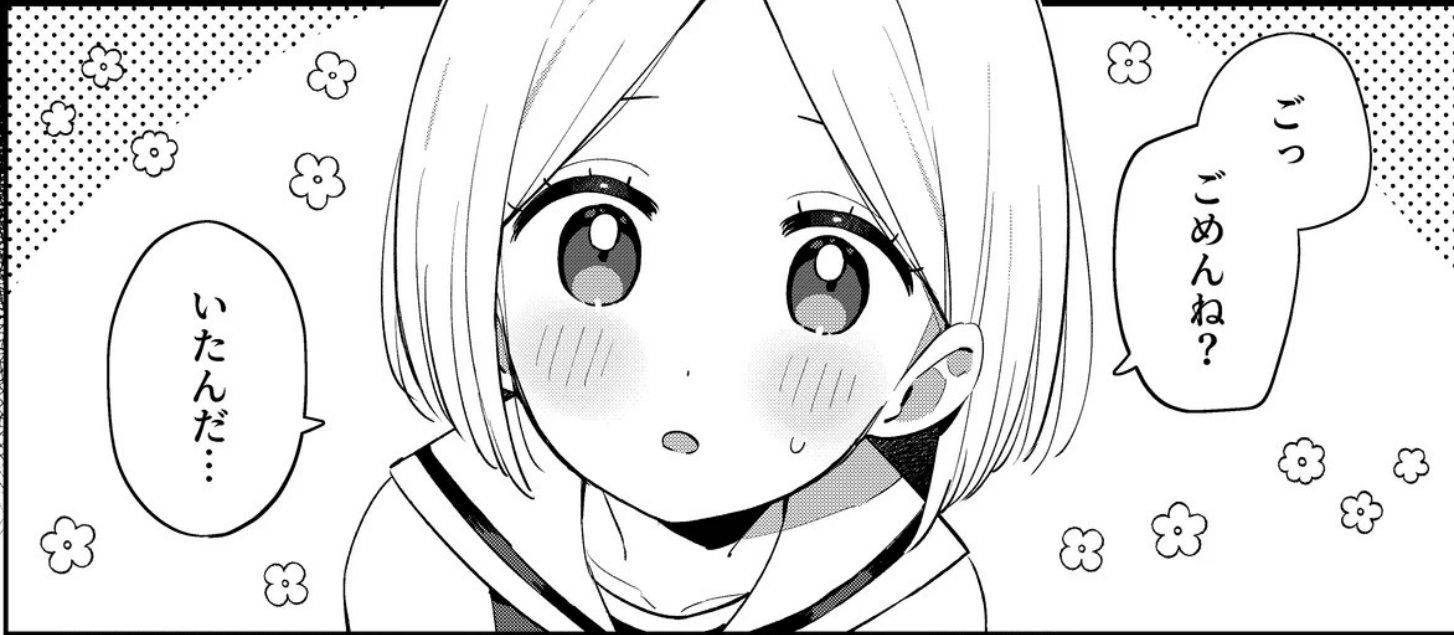
すっごい  
おっきい!!!





痛いじゃない...

さっしり...

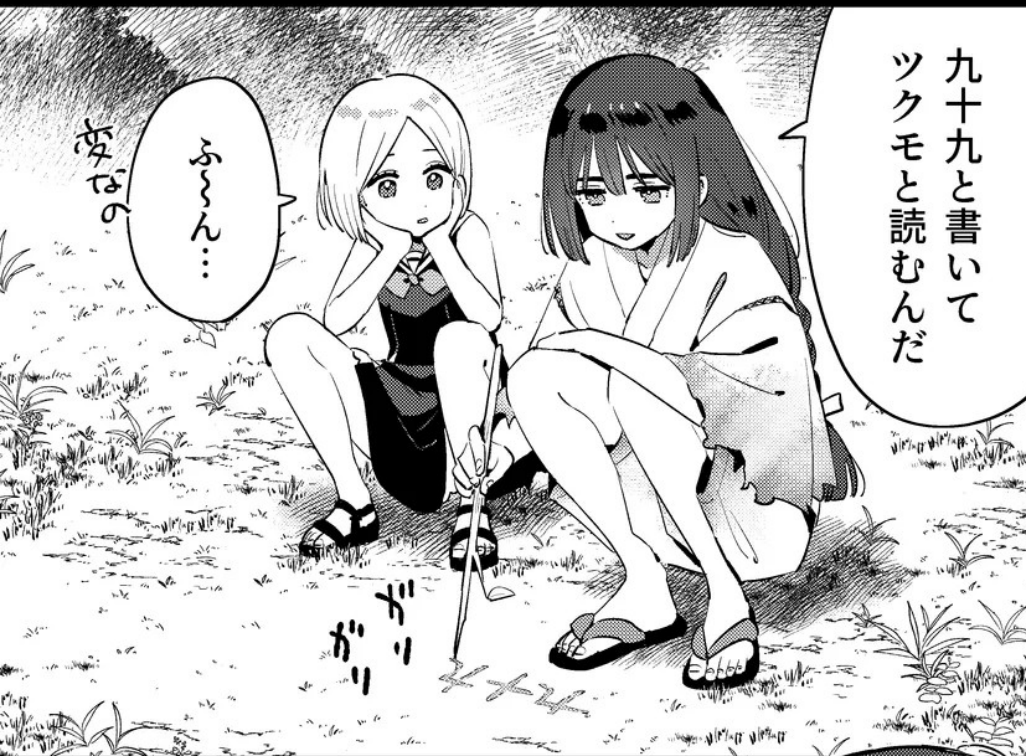
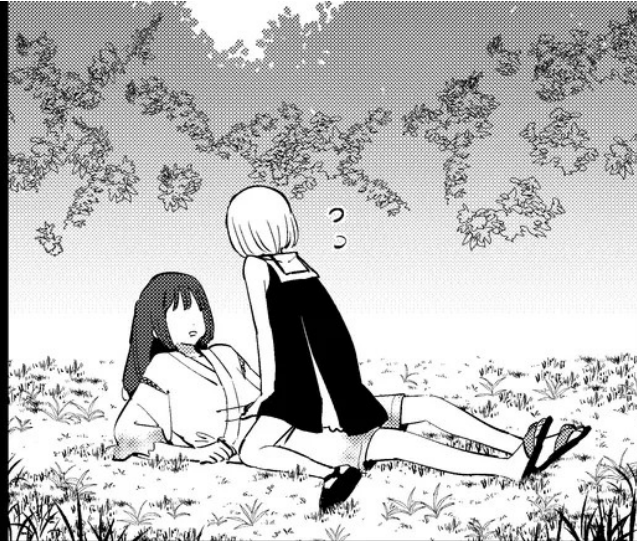


いたんだ...

さっしり  
ごめんね?



か...



これが  
九十九くんと  
の  
出会いだった

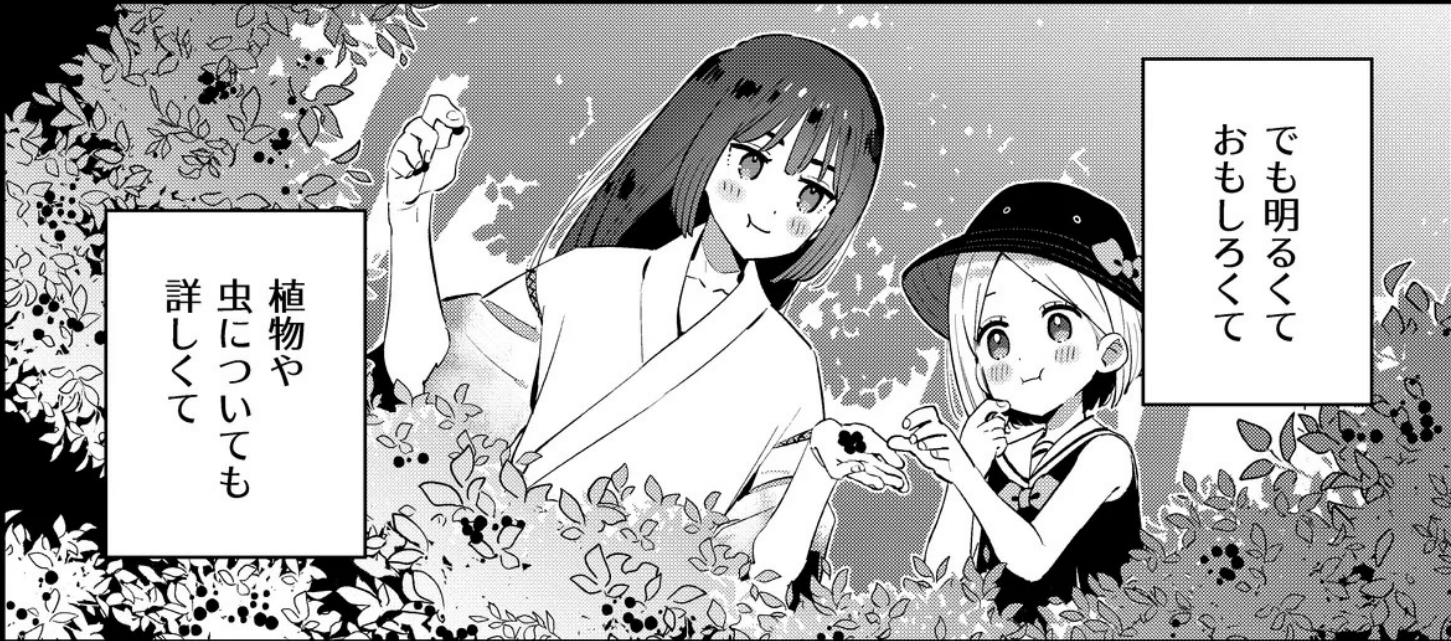


ミンカ...  
変か!



九十九くんは  
肌が青白くて  
髪が長くて  
ボロボロな  
甚平を着ていて

とにかく  
不思議な  
お兄ちゃんだった



でも明るくて  
おもしろくて

植物や  
虫についても  
詳しくて



おばあちゃん家に  
泊っている間は  
毎日一緒に  
遊んでいた

そして  
おばあちゃん家で  
過ごす夏休み  
最後の日……



俺  
ひよ子のことが  
好きだ!

ずっと一緒に  
いたい!

うん

私も  
九十九くんのこと  
好き!



そうか!  
では俺の嫁に  
なってくれるな?

よし!  
子作りしよう!

コヅクリ……っ?



私そろそろ  
お家に  
帰らなきゃ…



でも  
九十九くん…

ん?



…あ



なに？

まだ  
帰る時間じゃ  
ないだろう

今はおばあちゃん家に  
遊びに来てるだけで…

うーん…  
そうじゃなくて…

本当のお家は  
もっと遠いところに  
あるんだ…

…っ！



冷たい…



嫌だ…  
ひよ子…

どこにも  
行くな…



俺を一人に  
しないでくれ…

ひよ子…

また遊びに来るよ

お正月…とか？



…絶対だぞ

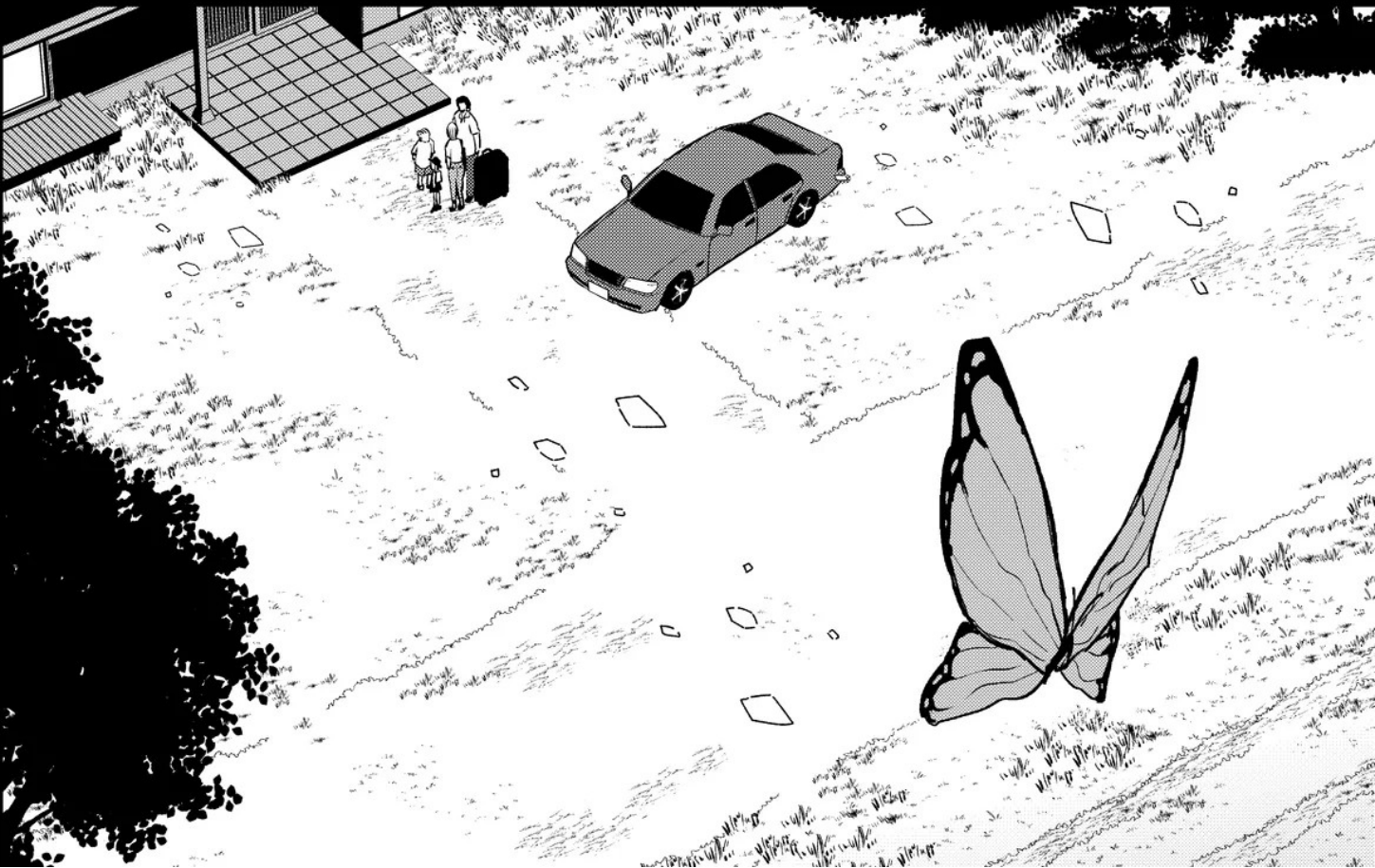
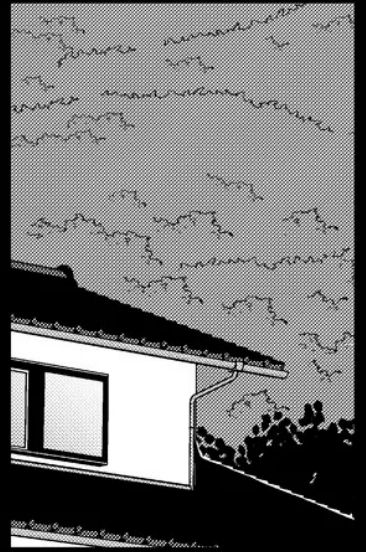
う…うん

離れている間も  
俺の嫁ということ  
忘れるなよ

もし忘れたら……



じゃあ  
次会ったら  
コヅクリってやつ  
しようね



私にはどうしても  
思い出せない  
子供の頃の記憶がある

ミーンン  
ミーンン

ミーンン

夏休みに  
田舎の神社で  
出会った  
不思議な男の子

ツクモ  
九十九くん

お兄ちゃんの  
ように慕って  
毎日一緒に  
遊んだのに

私は  
成長するに連れ  
彼のことも  
彼とした「約束」も  
忘れてしまい  
そのことすらも  
覚えていない

そして時は流れ  
6年後――

再び田舎へと  
やってきた私は

ひよんなことから  
神社にお参りに  
向かい……

全てを  
思い出したのであった

九十九……くん……!!?

ひよ子……!!?



ごめんね...!?

やはり俺は  
忘れ去られて  
いたんだな……

— そうか…



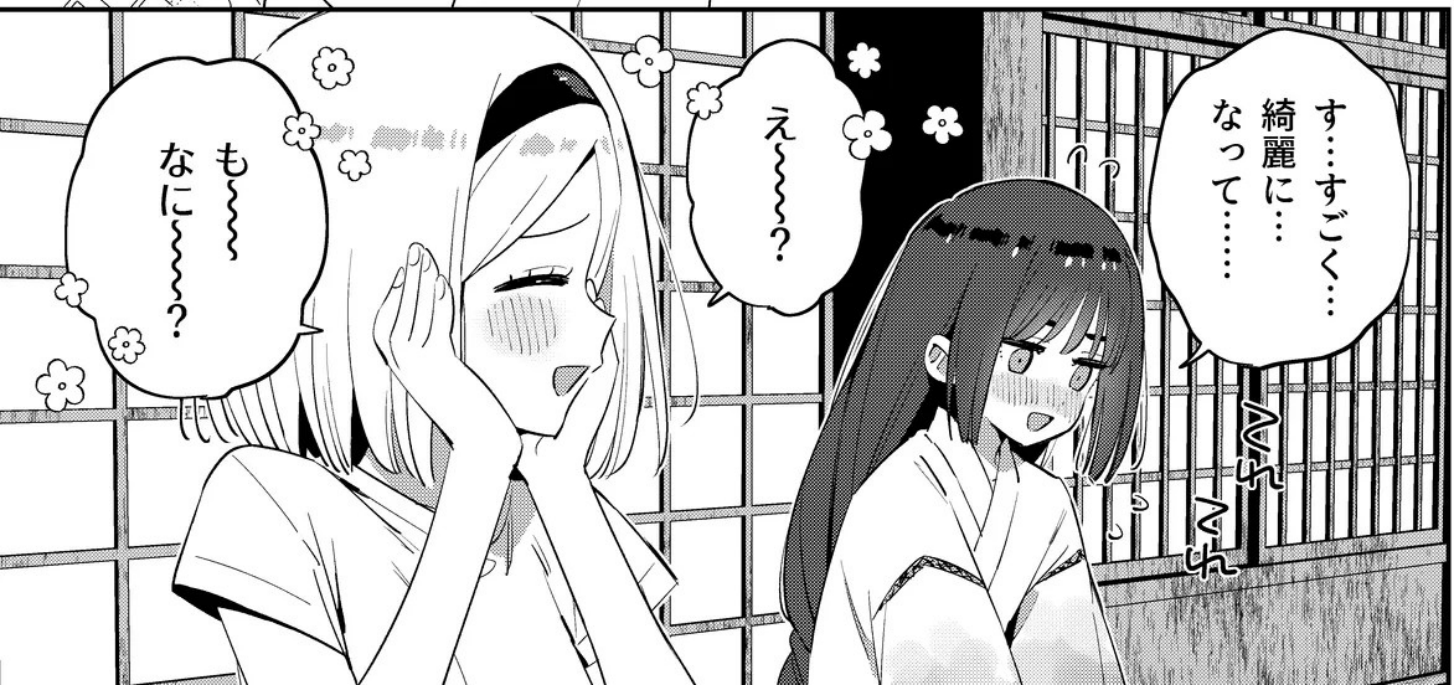
?



いや良い  
こうして  
また会えたし

それに……

キラ……



も  
なに……?

え……?

す……すごく……  
綺麗に……  
なって……

んんん



…じゃなくて

なんで九十九くんは  
あの頃と  
変わってないの!!!



まあ俺はここでは  
神のような  
存在だからな  
色々あるんだろう

…やっぱり…



う〜ん…

幼き頃の印象が  
強いからだろうか…



それよりも…だ!



九十九くんって  
なんか妙な雰囲気  
あったからなあ…

心のどこかでは  
人間じゃないかもって  
感じてはいたけど  
まさか本当に…

まあ細かいことは  
気にするな!



あの約束……  
覚えてる……よな……?



子作りするって  
約束しただろう!!

俺はずっと楽しみに  
待ってたんだぞ!?

…エロガキ!!



それなのに  
ひよ子に6年間も  
焦らされ続けて……

6年間毎日  
ズツッ悲しく泣いて……

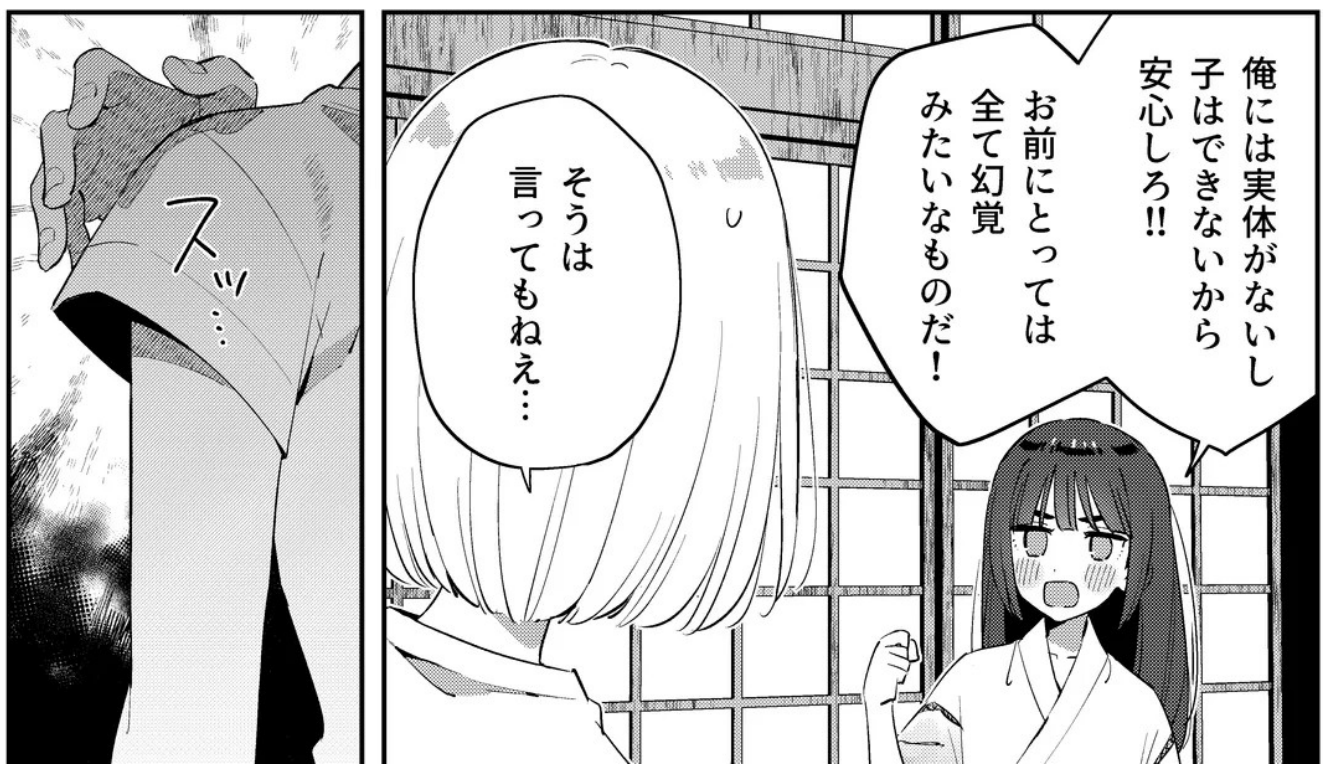
焦らしてない!!!



子作りって  
簡単に言うけど  
そんなの無理に  
決まってるでしょ!!

じゃ…じゃあ  
子はいらぬから  
性行為だけ  
させてくれ…!

なに言ってるの!!!



俺には実体がないし  
子はできないから  
安心しろ!!

お前にとっては  
全て幻覚  
みたいなものだ!

そうは  
言ってもねえ…

ズツ…



頼む〜〜!!  
一生の願いだ!!!

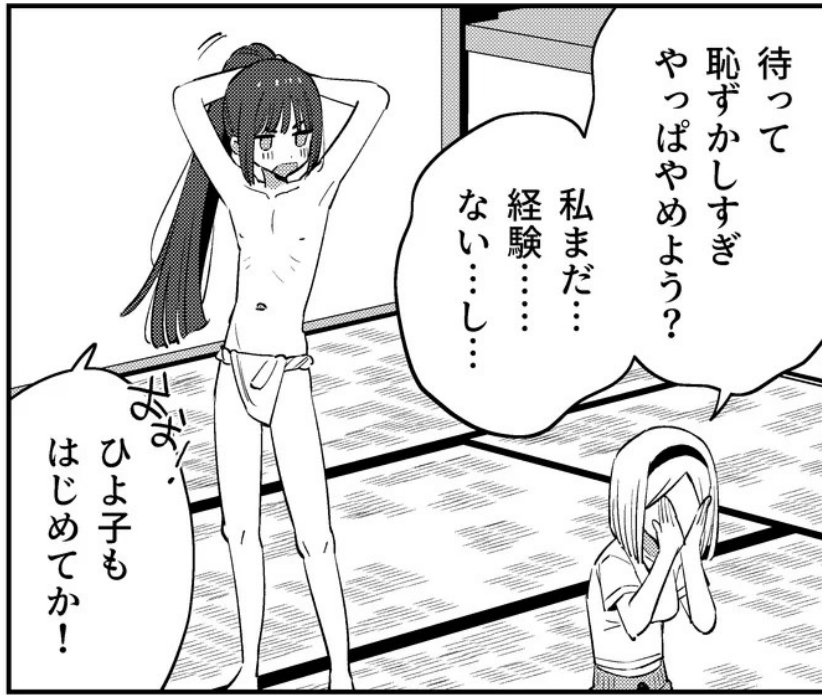
なにこれっ!?

きゃあっ!?



好きなんだ  
ひよ子の  
ことが!!!







ドキ...  
ドキ...

も~~~~っ!  
どうにでも  
なれ!!

…あんまり  
見ちゃダメだからね!

グイッ

スルリ...



…  
…  
ツ

…はい…

グニ...



はあ…  
なんで  
こんなことに…

おんっ





ひっ!?

ひっ!



ひっ!...

ひっ!...

やっ  
九十九くん...  
ってば...!

ちよっ  
も.....

あ♡

ひっ!

ひっ!

ひっ!

ひっ!

ひっ!

ひっ!

ひっ!

ひっ!

ひっ!

ひっ!

ひっ!

ひっ!

ひっ!

ひっ!

ひっ!

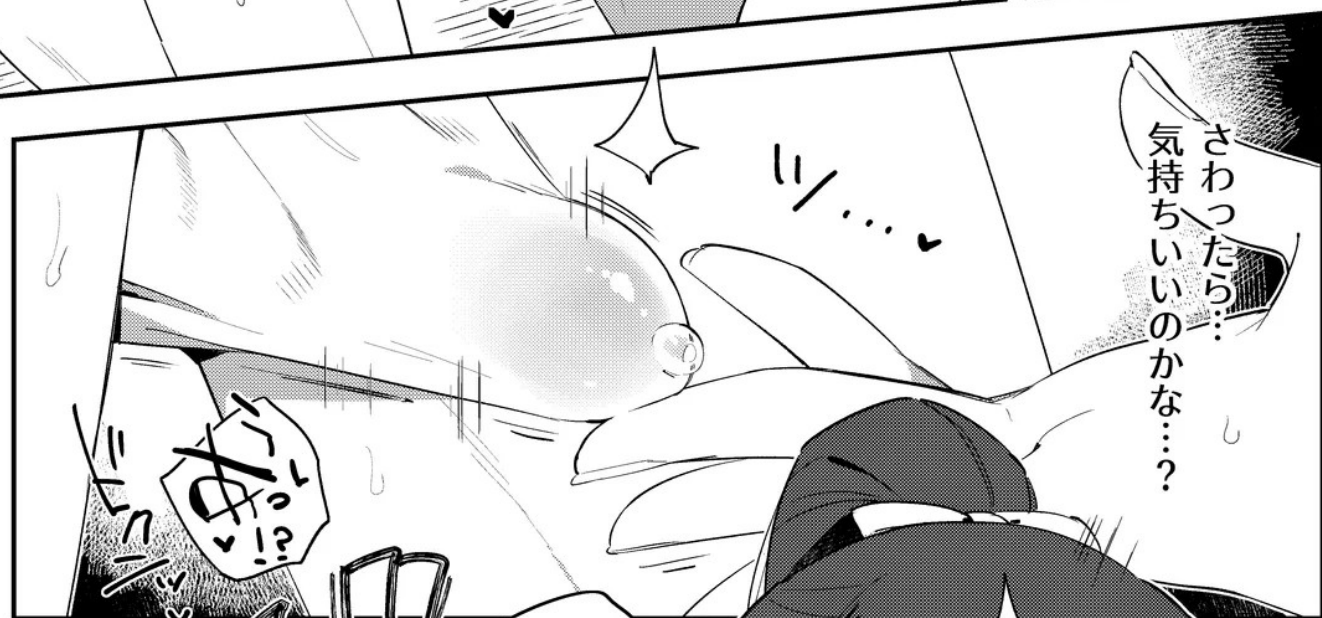
ひっ!



…すごい…  
勃ってる…

びり

びり



さわつたら…  
気持ちいいのかな…?

びり…

びり  
びり  
びり



びり…  
びり

びり  
びり  
びり

びり  
びり  
びり

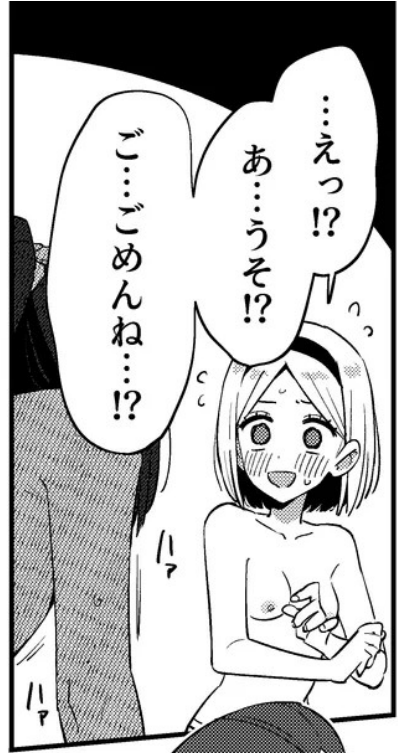
びり  
びり  
びり

びり  
びり  
びり



ひよ子……

ニユル  
ニユル



…えっ!?

あ…うそ!?

（…）めんね…!?



く…□…

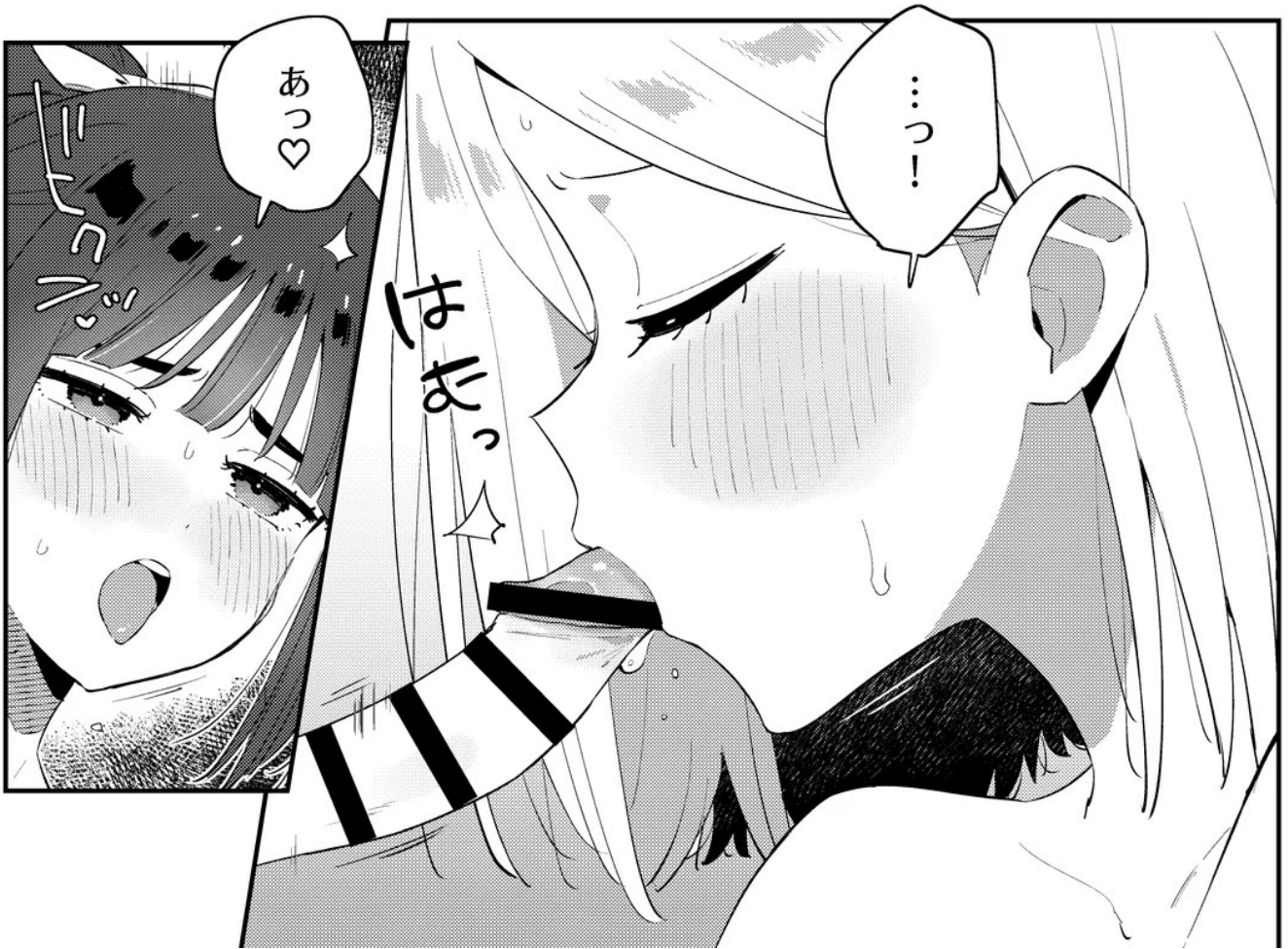
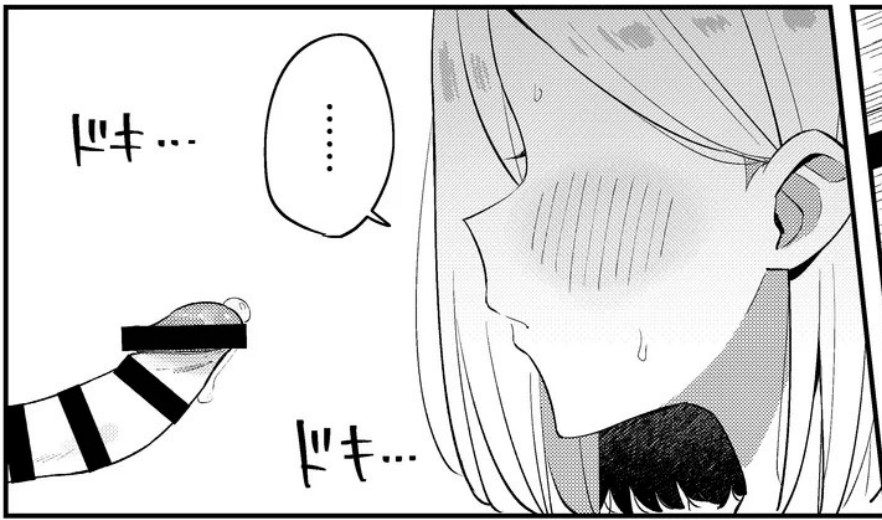
トキ  
トキ

啜えて…  
ほしい……

トキ

ウソ  
ウソ

……





あぁ♡

あ♡♡  
ひゃ♡♡♡

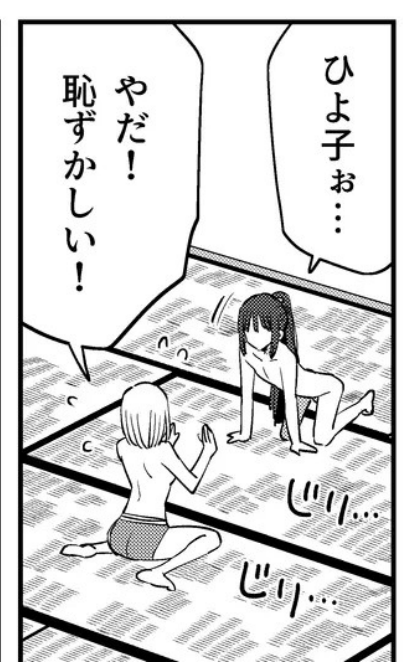
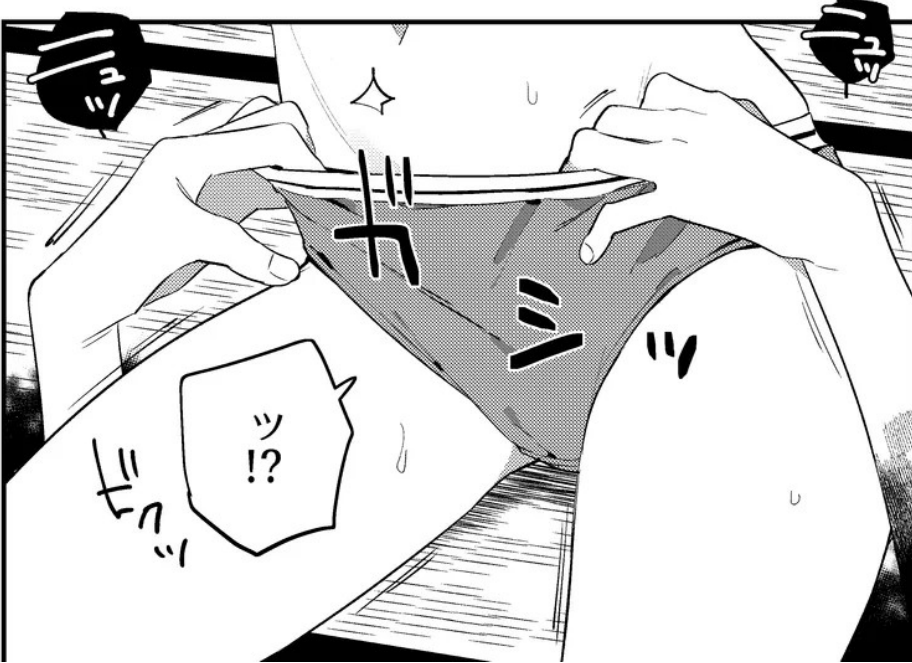
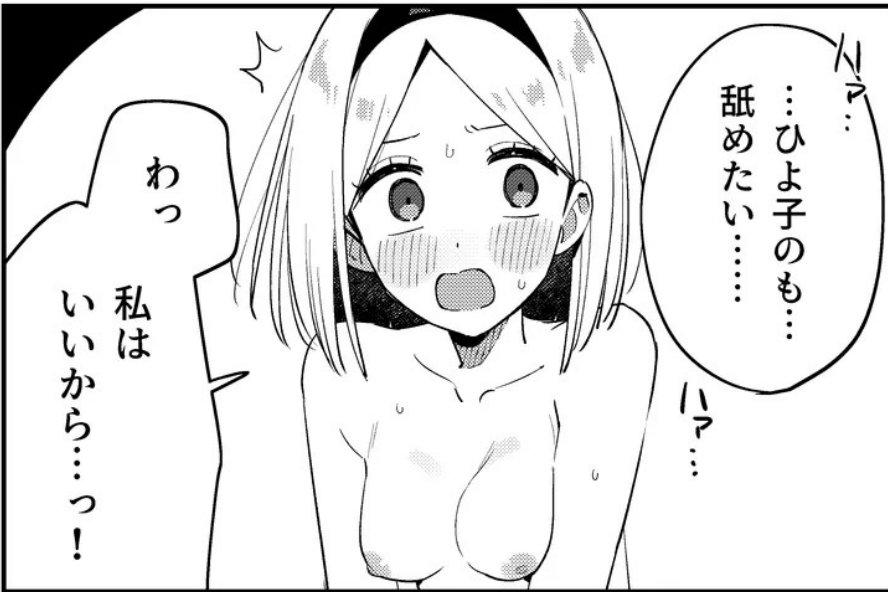
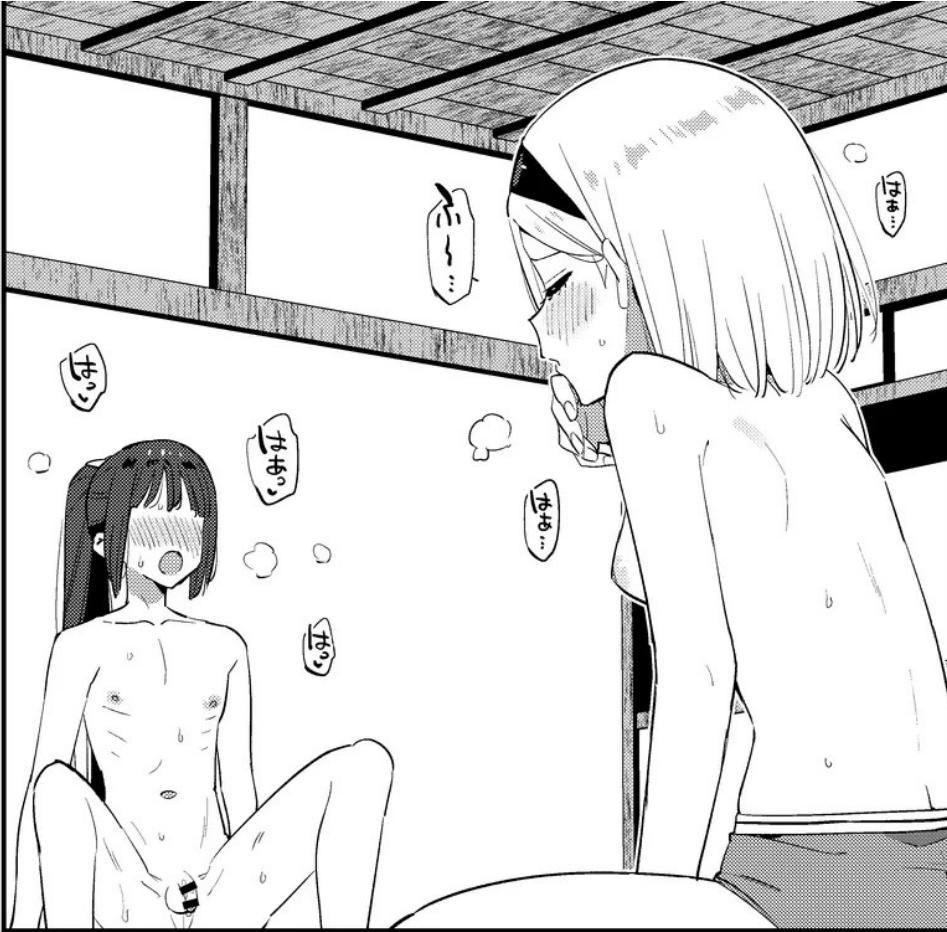
こ…こんな  
感じで  
いいのかな…



お…♡♡  
おかしく…  
な…りそう…だ…♡

あ♡♡













ほ…本当に  
色々大丈夫  
なんだよね…!?

おんおん…?

ん…  
シホ…ん…ん…

んんん…

んんん…

んんん…

んんん…

んんん…

んんん…

んんん…

んんん…

んんん…

んんん…

ん…ん…

んんん…

九十九くん…  
本当に  
気持ちよさそう…

んんん…



ひよ子も…

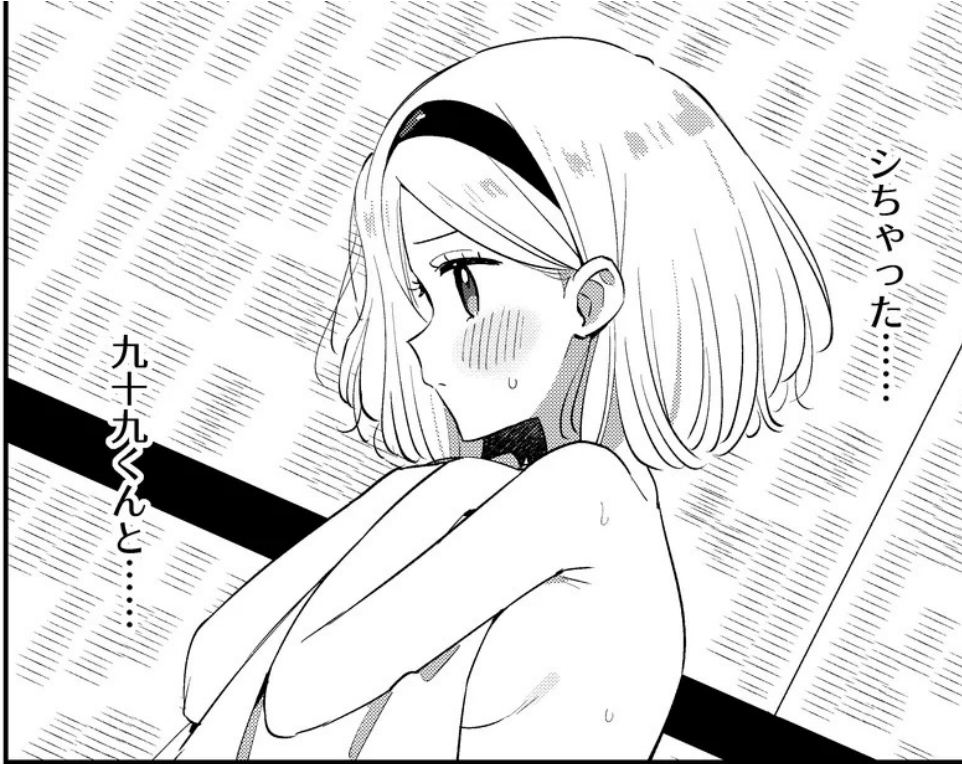
き…気持ち…  
良いか……？

うん…♡

気持ちいいよ…  
九十九くん…♡

よかった……♡





九十九くんと……

しちゃった……



幻覚のようなもの……  
そう九十九くんは  
言ってたけど……

えぞ……

リアルすぎて……  
本当……みたい……



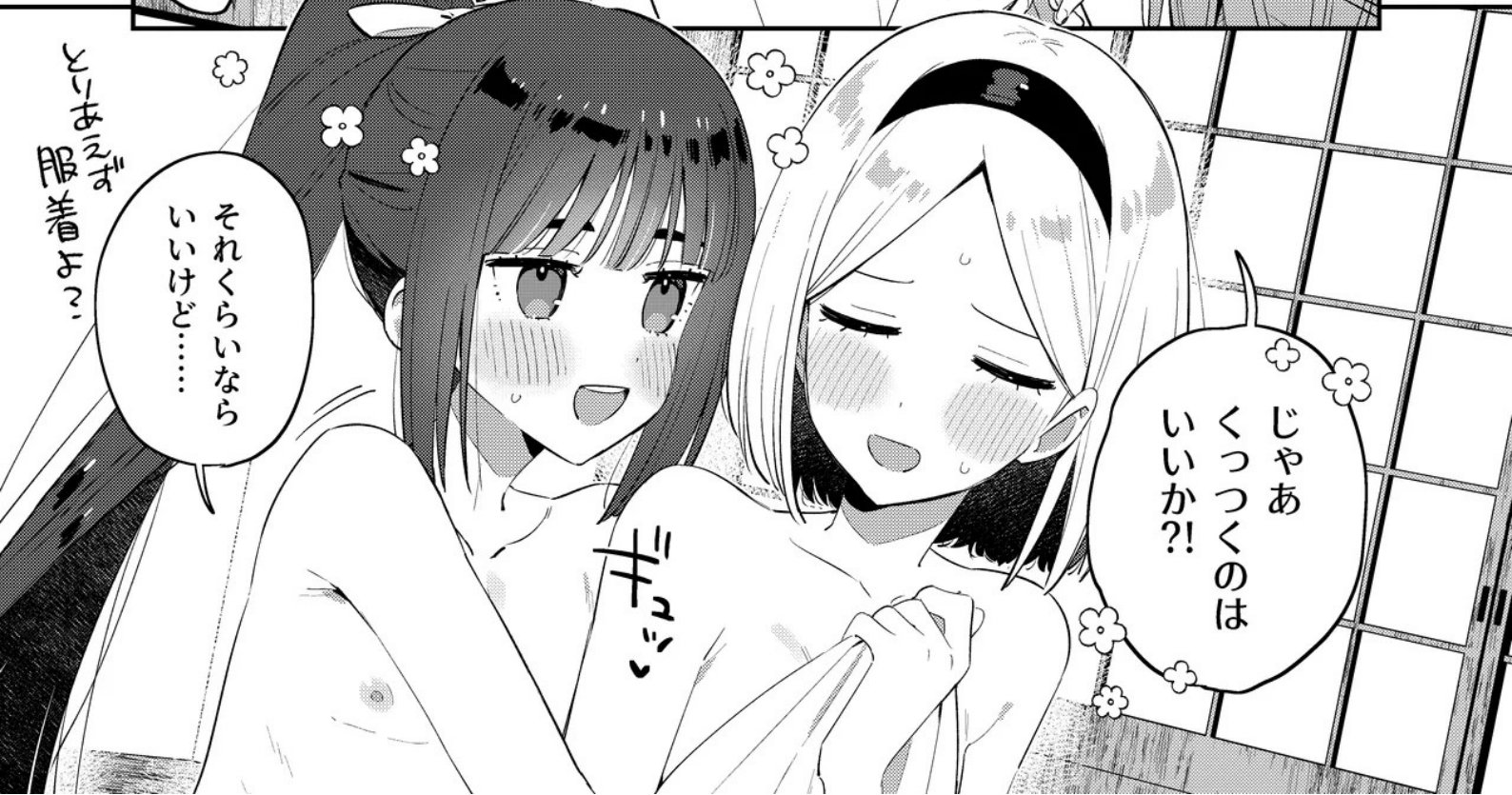
なんだか……

夢みたいだ……

は、は、

は、

は、





ひよ子と一緒になら  
もう寂しくないな

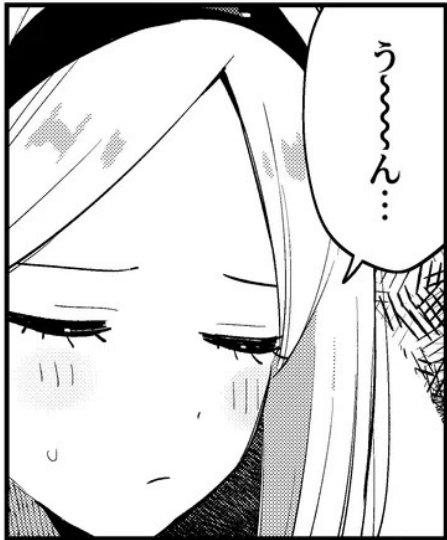
お前はもう  
俺の嫁だろう？



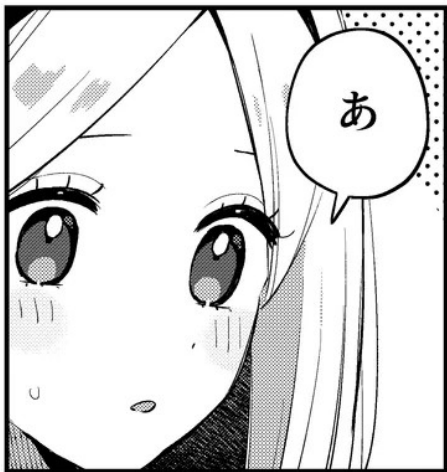
それで  
ひよ子…

もうここに  
住むのか？

へ？



う〜ん…



あ

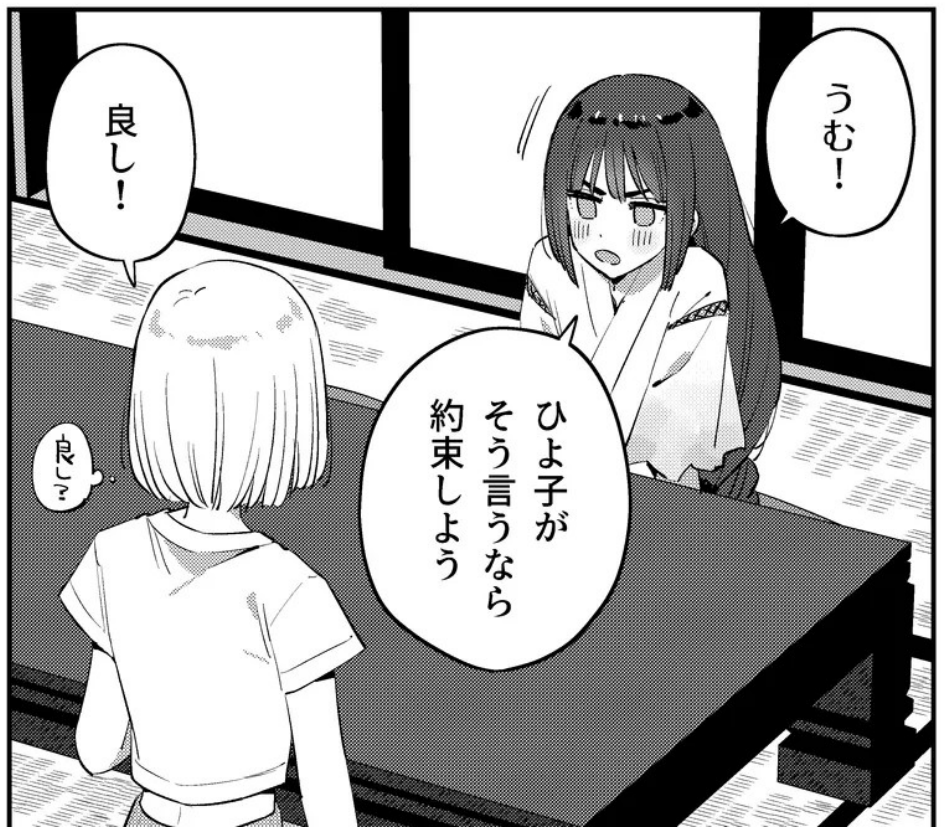


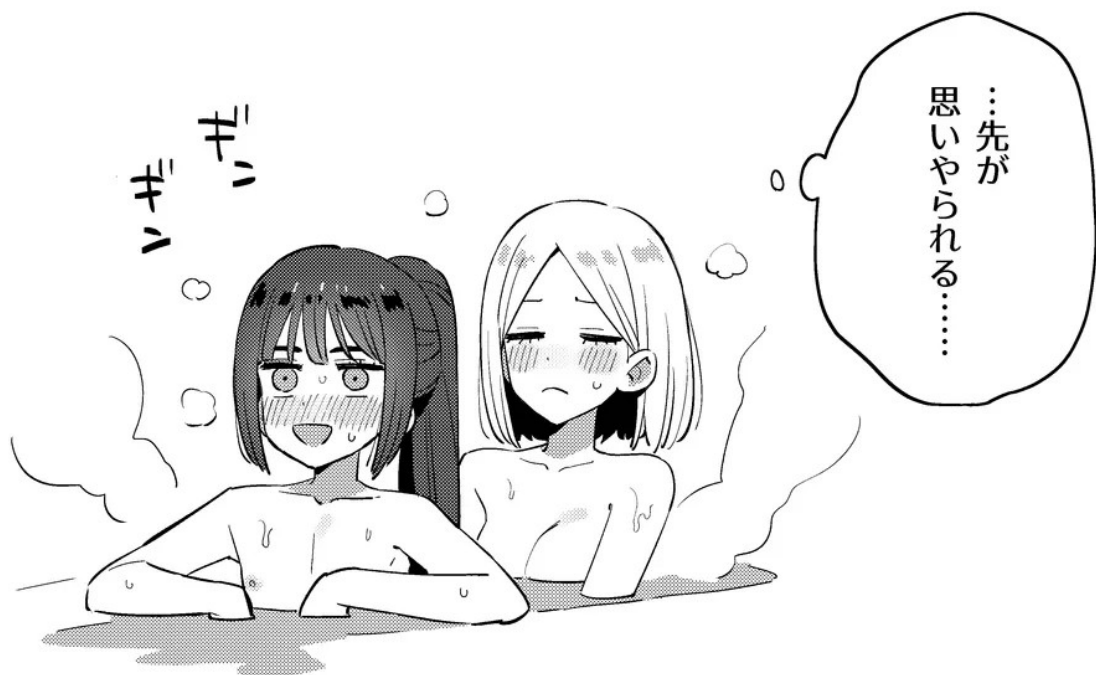
いやいやいや…

嫁…も  
おかしいけど  
こんな山の中じゃ  
暮らせないよ…

私も  
れんげんと  
一緒にいたけとら

キュ〜ッ♡





まわり